

一内水研通信一

第17号

平成29年11月

千葉県水産総合研究センター
内水面水産研究所
〒285-0866 佐倉市白井台 1390
TEL 043-461-2288
千葉県農林水産技術会議

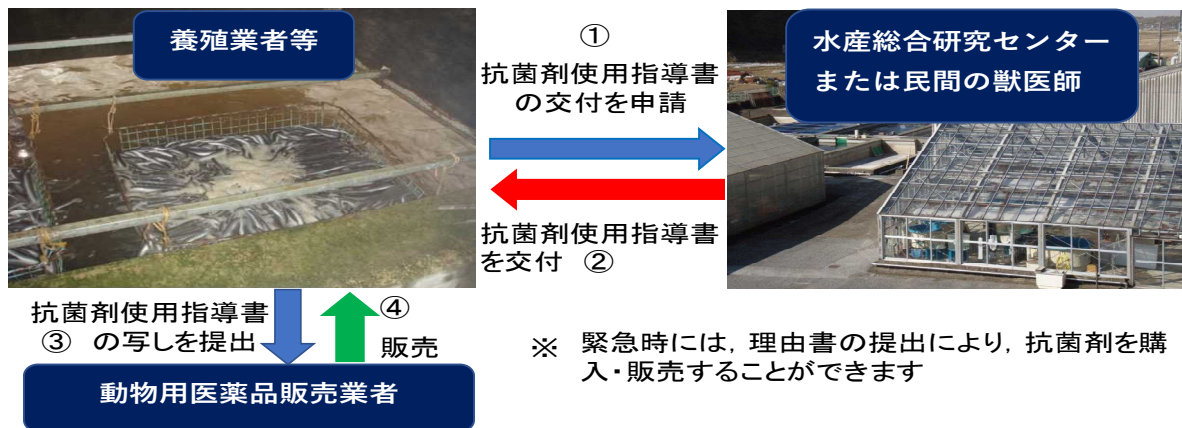
平成30年1月1日から

水産用抗菌剤の購入には使用指導書が必要です！

細菌性疾病の魚病治療を支えている水産用抗菌剤。一方、その乱用は薬剤耐性菌を増やすことに繋がります。そこで、国の指導により、平成30年1月1日から食用魚を対象に、医薬品販売業者から水産用抗菌剤を購入する際、使用する抗菌剤の使用指導書が必要となりました。

使用指導書は、当センターなどが交付しますので、本県内水面において、食用魚介類の養殖を営む方で水産用抗菌剤の購入予定がある時には、申請書と併せ、過去1年分の水産用医薬品の使用記録票を提出して下さい。使用指導書の有効期間は1年で、購入量に制限はありません。

なお、駆虫剤、ビタミン剤、消毒剤、麻酔剤の購入には使用指導書が不要ですが、水産用ワクチンには必要となりますので御注意願います。不明な点があれば当所まで御相談下さい。



□ 水産用抗菌剤の取扱い等に関する説明会を開催

平成29年10月26日に当センターにおいて県漁業資源課とともに、今回の新たな仕組みについて説明を行いました。

当日は、アユ、ウナギなどの養殖業者を含む関係者が出席され、具体的な申請方法、緊急時の理由書の作成および使用記録票の記載方法など活発な質疑がありました。



内水研での説明会

養殖技術研修や職場体験学習などを実施しました。

□ 海外青年協力隊への養殖技術研修

平成 29 年 10 月 24, 25 日に、海外青年協力隊からの依頼で、国際協力機構（JICA）事業でガボンに派遣予定の海外青年協力隊員候補者 1 名に対する養殖技術研修を実施しました。

JICA では、アフリカのガボンで淡水魚の養殖技術支援に取り組んでいるとのこと。実は淡水魚の養殖は世界的に盛んであり、特にナマズ類はその中心的な存在です。

研修では、給餌や水質の管理など養殖の基礎的な操作の他、ナマズの採卵に必要な薬剤の調合やアユの採卵を行いました。昨年同協力隊でフィリピンでの養殖支援を行う方に対する研修を実施しています。

当所での経験を現地の養殖支援に活かしていただければ幸いです。



実習の様子

□ インターンシップ



手繰川での調査

8 月 21 日から 9 月 1 日にかけて、大学生 1 名のインターンを受入れました。(生物関連の学科に在籍)

期間中、内水面水産研究所の基本的な業務を体験してもらいましたが、特に印旛沼に流入する河川の手繰川の調査では、採取・分析を行った後、取りまとめた成果を最終日に発表し、充実した研修となったようでした。

□ 職場体験学習

11 月 7, 8 日に職場体験学習として市内の中学生 2 名を受け入れました。

当日は所内飼育池の水温・pH の測定やアユの採卵作業の補助のほか、調査で採集した魚の仕分け・測定などの業務を体験してもらいました。初めてのことばかりでしたが、一生懸命取り組んでいました。



調査で採集した魚を測定